



2学年 職場体験学習 報告 ～「働く」を知り、社会とつながる貴重な2日間～

11月、2年生の大きな行事として職場体験学習を実施いたしました。これは、生徒たちが社会の一員としての自覚を持ち、将来の生き方や進路について深く考えるための重要な学習活動です。

事前学習では、「働くことの意義とは何か」「社会の仕組みはどうなっているのか」という基礎的なテーマを掘り下げました。生徒たちは、体験してみたい職種を自ら調べ、事業所を決定。訪問のマナーや心構え、職業人としての準備など、実践的な時間をかけて入念に準備を積み重ねてきました。

そして、11月12日・13日の2日間、いよいよ実際の職場での体験を行いました。

たった2日間という短い期間でしたが、生徒たちは緊張しながらも真剣な眼差しで仕事に取り組みました。挨拶や返事といった基本的なことから、それぞれの職種の専門的な業務まで、学校では得られない生きた学びを体感することができました。生徒たちの表情は、活動を終えるごとに自信に満ちたものに変わっていったのが印象的です。この体験は、生徒にとって自己の将来を見つめ直す、非常に有意義な機会となりました。

改めまして、ご多忙な時期にもかかわらず、本校生徒を温かく受け入れ、貴重な体験の機会をご提供くださった地域の事業主ならびに全ての関係者の皆様に、心より深く感謝申し上げます。生徒の活動の様子についてはホームページのブログに掲載しておりますので、ご覧ください。

職場体験学習を終えて

2学年主任

相武台中学校2年生の2大行事という、「鎌倉校外学習」とこの「職場体験」になるかと思います。1年時の職業講話では事前の職業調べに始まり、講師をお招きし、仕事とは一体何か、どんな仕事があるのかをお話いただきました。その経験を活かす絶好の機会がこの職場体験学習です。今年度は38の事業所へ受け入れていただき、生徒は普段の学校生活では体験することのできない「働く」ことについて、より実践的な学びを得てきました。

当日、様子を見に行くと、幼稚園では園児に、遊んでほしいと囲まれている生徒がいたり、お店のディスプレイを任せられ、さながら本当の店員さんのように真剣な眼差しで作業をしていたり、普段はありがとうございますと言われる側なのに、その日ばかりは満面の笑みでお客さんにありがとうございますを伝える側に立つなど、学校生活とはまた違った様子が見られました。生徒の感想を聞くと、「とても楽しかった」「職業としては知っていたが、こんなに仕事があるとは知らなかった」「難しいけどやりがいがあった」「また行きたいです」といったことが聞きました。中には「体験は楽しかったです。でも、仕事としてずっと続けていくとなると難しいかもしれません」と一時的な楽しさではなく、自分自身のキャリアに照らし合わせたときに仕事として続けていくことの難しさを実感した生徒もいたようです。まさに、これが今回のねらいのひとつでもあり実践的な学びだと思えます。仕事に就くということとはどういうことなのか。その一旦を感じ、自らの思い描くキャリアに照らし合わせ考えることで「見通し」を持つとする。ぜひ、この学びをこれからの生活、そして自らの進路選択へと役立ててほしいと感じました。

職場体験で学んだこと～生徒の感想～

2年1組 生徒

私は、職場体験で保育園に行きました。保育園ではリズム遊びというものをしました。園児と一緒に歌を歌ったり、じゃんけんをしたり、歌やピアノに合わせて体を動かしたりしました。その中で、園児と遊ぶときに、コミュニケーション、声掛けをすることを学びました。園児とコミュニケーションをとることで、一緒に楽しんだり、園児が何をしたいのか、何を伝えたいのかなどを知ることができました。声掛けは「できたね!」「すごい!」など声をかけることで次もやろう!とポジティブで前向きになれたりするので、大切だと思いました。園児がお昼寝の時も園児が過ごしやすい環境を作ることも学ぶことができました。

2年1組 生徒

私は小学校へ職場体験に行ってきました。算数が苦手な子に解き方を教えたあとに「ありがとう」と言ってもらえたり、できたことが嬉しそうな顔をしている子を見て、とてもやりがいを感じました。また、難しかったこともありました。それは話しかけてもあまり、話をしてくれない子を担当したときで、どうコミュニケーションを取るのかを工夫することが大切だとわかりました。また、先生方は授業で教科書の絵をコピーして掲示したり、静かになるように鐘をならしたりと、たくさん工夫をしているとわかりました。私はこの職場体験を通して2つのことを学びました。1つ目が安全に気をつけることです。2つ目は児童に寄り添うことです。私は将来先生になりたいので、この経験を活かして、これから頑張っていきたいです。

2年2組 生徒

私は職場体験でベーカリー HIMUKA で働くことの大変さとやり甲斐を学びました。パンこねから盛りつけ、レジの袋づめまで様々なことを体験させてもらったのですが、どれも実際に店に出してお客さんに食べてもらうものとして手が抜けず、ずっと立ちっぱなしで作業をするのは大変でした。ですが自分が手がけてつくったパンをお客さんに手に取ってもらい、売れたときはものすごく嬉しくてやり甲斐を感じました。また最初は苦戦した作業も職場の人たちに教えてもらい、最後はスムーズに出来るようになり、職場の人たちの温かさや支えあって作業をする大切さを感じました。働くことは辛いこともあったけれど、その努力が誰かの役に立っていると考えると、働くことは大切なものだと思えました。

2年3組 生徒

私は職場体験を通して働くことの楽しさや大変さを知りました。

まず楽しかったことはクッキー作りです。買う人の気持ちを考えて一つ一つ丁寧に作る事ができ、普段はやらないお菓子作りを職場体験を通してできたことが嬉しかったです。他にも集中力が必要なものが多く、地道な作業だったけど楽しいと感じました。大変だと思ったことは、作業中はずっと立ちっぱなしで途中から足と腰が痛くなりました。他にもお釣りや商品のわたし方やレジ打ちの仕方など覚えることが多くて、これを毎日やっている事業所の方はすごいなど改めて思いました。今後、バイトや仕事をする様になったときに職場体験で学んだことを活かして行きたいと思います。